



Navigator //



モザイクタイル Mosaic tile の散歩道

Vol.2

はるきち 水野春吉商店 (新町)

美濃焼タイルとまちの素敵な出会い。

多治見で最も古くから続く商店街「多治見銀座商店街」。多治見国長の邸宅跡に隣接するひとつが水野春吉商店です。

陶器商であった水野新吾商店から大正7年に独立して創業。それ以前から建つ本家の家屋を譲り受けて改装したとか。正面や店頭のタイルは、同店が日之出タイル合資会社を始めた昭和9年ごろ、自社のタイルを使って再び改装。石材のような表情の役物や目地幅の広いボーダータイルは昭和9年の日本陶磁器センターなどと共通し、時代の流行を感じさせます。

渋い色合いの施釉モザイクタイルが貼られた裏口を出ると、緑の揺れる広い空間。現在のご主人が幼いころには工場があり、紙貼りや木箱の梱包をする人々が大勢立ち働いていたそうです。

モザイクタイルミュージアム

学芸員 村山 閑

※本連載では、市内に点在する美濃焼タイルを使った建造物を紹介します